

リハビリテーション治療学特講

【講義】 第1学年 前期 選択 2単位

《担当者名》○吉田 晋 ysdsm@hoku-iryo-u.ac.jp 坂上哲可 tsakaue@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

神経科学や制御工学といった隣接科学の進歩を背景に、リハビリテーションの方法論も大きく変化してきている。特に神経科学を背景としたニューロリハビリテーションやロボティクスを用いたアプローチの進歩は著しく、近年神経系の可塑性を促進する様々な方法やリハビリテーション機器が開発されている。しかしながらその適応や効果など未解明な点も多く、確かなエビデンスは得られていない。本特講ではこうした最新のリハビリテーション手法についてレビューし、ディスカッションを通じて理解を深め、リハビリテーションの可能性を検証する。

【学修目標】

一般目標：最新の学術論文をレビューし、批判的吟味する能力を身につける。

行動目標：

1. 神経科学領域の論文を抄読し、レビューができる。
2. ニューロリハビリテーションの手法や効果の範囲について説明ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	文献レビューの進め方等について説明する。	吉田 晋
2～15	神経科学領域の文献抄読	文献レビューおよびディスカッション	吉田 晋 坂上哲可

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業内でのプレゼンテーション50%、ディスカッションでの発言内容50%により総合的に評価する。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

【学修の準備】

関連分野の文献等を各自調査し学習すること。

予習では、文献検索・分析とプレゼンテーションの準備をしておくこと（80分）。

復習では、質疑応答の内容および担当教員の助言を整理すること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、保健・医療・福祉の分野において、リハビリテーション科学に関する高度な学識と研究能力を修得し、リハビリテーション科学の発展を通して社会に貢献できるというリハビリテーション科学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

吉田 晋（理学療法士） 坂上哲可（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

病院での臨床経験をもとに講義を行う。